

市民と市役所が

# ツナガル通信

発行日：平成 28 年 5 月 26 日

発行元：ESD・市民協働推進センター

岡山市役所本庁舎 2 階（月～金、9:00～17:00）

TEL：086-803-1062/070-5055-7589



## Contents

>>「協働推進本部員・協働推進員合同  
研修会」を開催しました！

>> ESD・市民協働推進センターの  
活動報告

Vol.12

### 「市民協働推進本部員・協働推進員合同研修会」を開催しました！

平成28年4月の「岡山市協働のまちづくり条例」施行にともない、多様な主体の協働による地域の社会課題解決に関する取組を推進するため、岡山市の63の協働関係部署の課長等による「市民協働推進本部」が設置され、各課に協働を推進する「協働推進員」が配置されました。4月25日には第1回本部会議及び本部員・協働推進員を対象とした研修会が開催され、研修冒頭の大森市長のあいさつや講師の講演を通じて協働の必要性があらためて確認・共有される有意義な機会となりました。

#### （研修概要）

日時 平成 28 年 4 月 25 日（月） 14：00～16：00  
場所 岡山市役所 7 階 大会議室  
講師 川北秀人さん（IIHOE〔人と組織と地球のための国際研究所〕代表）  
参加人数 110名  
満足度 平均91点（100点満点）



#### （講演概要）

演題：自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために-協働の基礎を再確認する-  
※研修で使用された資料は講師のブログにて公開されています。ぜひご覧になってください。

「川北秀人 on 人・組織・地球」<http://blog.canpan.info/dede/archive/1114>

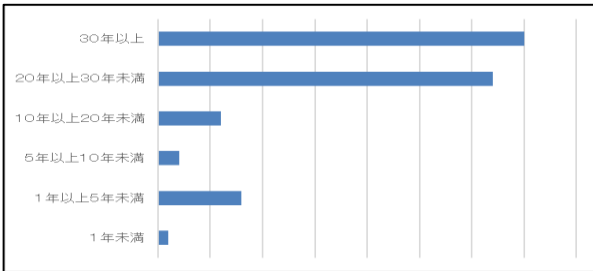
- ・協働は法が禁じること以外、すべて可能。すべての部署で協働を前提に。
- ・これまでとこれからの社会状況は大きく異なる。これまでの延長線上で考えてはいけない。
- ・2020年の岡山市はどうなる？高齢者率は？75歳以上人口は？生産人口は？既存インフラの補修・更新コストは？財政推移は？データを見れば協働しなければならない理由がわかる。
- ・協働って委託や補助とどう違うの？「参加・支援」から「協働・総働」へ。
- ・「個人情報保護」は協働できない理由にはならない。

#### （紹介された事例・参考資料など）

八王子市「職員のための協働ハンドブック」	<a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/shiminkatsudo/kyodohandbook.html">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/shiminkatsudo/kyodohandbook.html</a>
仙台市「協働評価シート」	<a href="http://www.city.sendai.jp/manabu/shimin/keikaku/1215532_1765.html">http://www.city.sendai.jp/manabu/shimin/keikaku/1215532_1765.html</a>
静岡県「ひとり1改革運動」	<a href="https://www.pref.shizuoka.jp/soumu/so-030a/4-2.html">https://www.pref.shizuoka.jp/soumu/so-030a/4-2.html</a>
国分寺市「公共調達条例」	<a href="http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/nyusatsu/1003732.html">http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/nyusatsu/1003732.html</a>
横浜市「横浜型地域貢献企業支援事業」	<a href="http://www.idec.or.jp/keiei/csr/">http://www.idec.or.jp/keiei/csr/</a>

## (アンケート結果の紹介)

・アンケート回収率：78% (86名/110名)

勤続年数	30年以上	35名	
	20年以上30年未満	32名	
	10年以上20年未満	6名	
	5年以上10年未満	2名	
	1年以上5年未満	8名	
	1年未満	1名	

協働推進の課題 (庁内)	目標や計画がない	31名	
	NPOの情報がない	23名	
	予算が確保できない	16名	
	新しい提案が歓迎されない	14名	
	必要性が感じられていない	10名	
	意欲やサポートがない	5名	
	市民から信用されていない	5名	
	その他	7名	

アンケートより感想の抜粋	<p>「川北さんの話がとてもおもしろくわかりやすかった。協働の必要性を初めて感じた。急がないといけないと思った。」「協働を進めないと岡山市役所がなりたたなくなると感じた。」「今のままではいけないと強く感じられた。」「必要性は十分に分かったが、現在の仕事を考えると難しさを感じ大変だと実感した。ただ期待以上に具体的事例をあげられ参考になった。」「2時間では足りない。」</p>
--------------	---

なお、職員自身が抱える課題として、「進め方・手順がわからない」「忙しくて時間がとれない」などの意見も多く見られました。今後こうした課題を超えていくための研修等を実施していく予定です。

E S D・市民協働推進センターでは今後も協働推進本部・協働推進員の皆様と連携しながら各種協働推進施策を展開してまいります。条例改正によってさらに体制が拡充された岡山市の今後の取り組みにご注目ください。

## 平成27年度「E S D・市民協働推進センター」のご報告

平成27年度のE S D・市民協働推進センターの実績を簡単にご報告いたします。フォーラムやワークショップの実績など、詳しくは「つながる協働ひろば」をご覧ください。

項目	平成27年度実績	前年度(平成26年度)実績
開所日数	246日	107日
相談件数	243件	125件
来所人数	のべ446名	のべ245名

開所日数と体制の拡充により、相談件数・来所人数ともに約2倍増加しており、センターの周知と活用が着実に進んでいることを実感する一年でした。また、岡山市・NPO 協働推進協議会とともに8回のフォーラムを開催し、のべ541名の市民の参加・協力を得て15年ぶりの条例改正を実現することができました。今年度はさらに条例が生かされ、市民、市役所の双方に協働の意義と効果が実感されるように「市民協働推進モデル事業」をはじめとした協働の実践事例のサポートと情報発信に力を注いでまいります。